



碧南ロータリークラブ週報

第2971回例会 令和3年3月10日(水)

- 会長 岡本 明弘
- 幹事 鈴木 泰博
- 会場監督(SAA) 服部 弘史

2020-2021 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 事務局 碧南商工会議所内
TEL<0566>41-1100
ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
E-mail: info@hekinan-rc.jp
- 例会場 碧南商工会議所ホール
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
FAX<0566>48-1100



ロータリーは機会の扉を開く

- 会報委員 林 俊行・石川鋼勇・牧野勝俊

●本日のお弁当

衣浦グランドホテル

●本日のお客様

アイシン精機(株)衣浦工場 工場長 加藤鋭哉様

会 長 挨 拶

皆様、こんにちは。愛知県の緊急事態宣言が解除されまして、少し人の動きも出てきたように思います。また、3月から少し暖かくなってきましたので、気が緩みがちになりますが、コロナへの対応は引き続きよろしくお願い致します。



岡本明弘会長

さて、本日は会場の雰囲気が変わっておりますけれども、碧南 RC 会員全員で IDM (インフォーマルディスカッションミーティング) をやるということで、よろしくお願い致します。このミーティングは2月17日の Zoom 連絡会でご案内した通り、1935年に新入会員に情報を提供するために始められたものでありまして、シカゴ RC がこれを取り入れて、大変な効果が出たということでもあります。当初は炉辺(ろばた)会合と言われてまして、暖炉の前でインフォーマルでアットホームな雰囲気にして、初歩的なことも気楽に聞けるような親睦の会合であったと聞いております。現在では「IDM」という言葉そのものが手続要覧から無くなっておりますけれども、各 RC が色んなやり方で集会を開催されております。本年度は地区方針に入会3年以内の会員のリーダーシップを養成するというのが書いてありまして、碧南 RC としましては、IDM を衣浦グランドホテルで酒を伴った夜間例会を計画しておりました。ところがコロナの影響で、このような昼間の公式な情報交換会となりましたけれども、趣旨をご理解いただいて、自由討論を和やかな雰囲気でやりたいと思いますので、よろしくお願い致します。

ここで、炉辺会合で聞いた先輩会員の一言を1つだけご紹介したいと思います。「人生、こ

れからよ！」、「あと何年、みんなとこんな楽しい会合ができるのかな？」。これは西脇 RC の矢納会員の言葉です。これからもロータリーライフを楽しもうということですね。先輩会員の何気ない言葉ですけれども、後輩会員の胸に突き刺さり、「私もこの人のようなロータリアンになりたい。ロータリーを続けて良かったと言えるようになろう！」と感じられたということです。本日の IDM が会員相互の気付きの場になればと思います。

それでは、本日の IDM もよろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告をさせていただきます。

- ・ 第 9 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ 赤い羽根共同募金の感謝状が届いております。ご協力ありがとうございました。
- ・ 地区大会にバスで参加される方にパンフレットと注意事項を配布させていただきました。名札につきましては、当日にお渡ししたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



鈴木泰博幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 66 名 (内出席免除者 15 名の内出席者 10 名) 出席者 53 名	
出席対象者 53 / 61 名	出 席 率 86.89%
欠席者 13 名 (病欠者 0 名)	

<ニコボックス>

- 森田 英治君 本日の卓話、担当していただきます。よろしく。
- 岡本 彰人君 社会奉仕委員長の岡本です。本日の植樹式、宜しくお願いします。
- 長田 一希君 本日、IDMで、お話させていただきます。宜しくお願いします。
- 柴田奈生子君 本日の卓話をさせていただきます。宜しくお願い致します。
- 谷川 勝哉君 先日のゴルフ例会で、優勝させていただきました。メンバーと運に恵まれたおかげです。ありがとうございました。

インフォーマルディスカッションミーティング (IDM)

「私とロータリー」

先輩ロータリアンスピーチ 森田英治君



森田英治君

森田でございます。古いだけ取り柄で申し訳ございませんが、私が入会したのは1977年7月1日でございます。会員歴が44年でございます。年齢は現在89歳で、今年で90歳になります。まだまだ元気でございます。皆様方とのお付き合いができると思います。よろしく申し上げます。

今まで44年間に亘ってロータリー会員で過ごしてきたんですが、色んなことがございました。私が入会した当時は1職業につき1人しか入会ができないという本当に狭き門でありまして、ロータリー会員であることがステータスということで、入会したくても入会できないという状況がしばらくの間続いております。それから、会員増強が叫ばれるようになってからどんどん現在の状況になってきた訳でございます。また、私が入会した当時は開会の1時間前くらいに皆さん方がお集まりになりまして、色んな世間話や先輩ロータリアンとしての話を聞かせていただいて、大変参考になりました。それに伴って友人がたくさん増えてまして、世間を知る輪が広がって、色んな経験をさせていただき、助かったのを憶えております。

碧南市には社会福祉協議会というのがありまして、良い経験になるからと先輩に言われ、会長を6年間やらせていただき、世間には恵まれない方々がたくさんおり、助けてあげなきゃいけないなあということを学ばせていただきました。更に総務省からの委嘱による行政相談員を定年の80歳まで務めさせていただき、その間に愛知県の協議会の会長、東海・北陸の協議会の会長もやりました。このことにより、2011年の瑞宝双光章をいただきまして、この年の7月に妻と一緒に皇居に行って、天皇皇后両陛下を拝謁することができました。本当に夢みたいな話なんですけど、ロータリーを通じて皆さんと知り合ったことで、輪が広がっていったということでございます。

それから、碧南RCとして色んな経験をさせていただきました。まず、「彫刻のあるまちづくり」ということで、日本の著名な彫刻家に依頼して、10年間の計画で、彫刻を1年に1作ずつ碧南市内に設置するというのを碧南市と共同でやりました。主な作品を申し上げますと、碧南市臨海体育館前に堀内正和さん作の「進む形」、碧南市文化会館前に佐藤忠良さん作の「ジーンズ・夏」、碧南市役所前に新妻実さん作の「眼の城'86」、碧南市民病院ロータリーに山口牧生さん、増田正和さん、小林陸一郎さんの3人による造形集団環境造形Q作の「スパイラル」がございます。今も碧南市内の各地にございますので、機会がございましたら、我々が寄贈した財産だということで、確認するのも1つの方法かなと思います。他には碧南市への緑化事業の推進ということで、碧南市内の公園や学校等に毎年植樹をしており、現在も続いております。

それから、碧南RCがホストとして行った大きな行事が少なくとも2つございます。1つは2760地区の地区大会のホストをやったことでございます。これは大変でございました。

2001年11月17日(土)、18日(日)の2日間に亘って行われました。実行委員長は山中寛三さんをお願いしまして、その時に「やるからにはホテルに丸投げするような地区大会ではなく、私たちでやろう。」とおっしゃいまして、そのように決定致しました。そうしますと、碧南市内で2,000名以上入る会場は碧南市臨海体育館しかないということで、許可を取りましたが、土足はダメだが2,000名以上の靴の整理や管理はとてできないから何とかできないかということで、会場の中にビニールシートを敷くことになりました。そして、机と椅子を並べようと思いましたが、机までは入らないので、椅子だけを並べました。会員全員で手分けしまして、駐車場や会場の準備などで本当に苦労したのを憶えております。メインになる講演会を誰にお願いするかということで、色々検討したんですが、当時、非常に売れっ子でした経済評論家の長谷川慶太郎さんをお願いしようということになりまして、副委員長の新美孝さんと私と大会幹事の杉浦健次さんの3人で東京の長谷川さんの自宅に行きまして、了承していただきました。会員全員で汗を流して、手づくりの地区大会を開催したことで、大変思い出に残るものになりました。

もう1つは8年前のことなので、会員皆さんは憶えて見えると思いますが、西三河分区のIMをホストでやったことでございます。2013年2月16日(土)に行われました。会場は衣浦グランドホテルをお願いしました。実行委員長は私が務めさせていただきまして、皆さん方に来ていただくにはどうしたらいいだろうかということで、実行委員会で色々相談をして、その結果、思い切って京都から舞妓さんと芸妓さんと呼ぼうということになりました。色々交渉した結果、最終的には舞妓さんと芸妓さんが15名来てくれることになりました。私が各クラブに訪問して出席要請をしたんですが、京都から舞妓さんと芸妓さんが15名来てくれるということを伝えると反応が良すぎて、全員来ていただくと会場に収まりきれないので、後で各クラブに5割~6割の会員の出席に絞っていただくようお願いしました。当日、舞妓さんと芸妓さんには新幹線で名古屋駅まで来ていただいたのですが、新幹線から降りたとたん他の乗客に囲まれてしまって身動きが取れない状況になりまして、会場への到着がかなり遅れてしまったということがございました。非常に盛り上がりまして、最後まで1人も帰ることなく、皆さん楽しんでいただいたのを憶えております。本当に記憶に残るIMのホストをしたと思います。今でも他クラブの実行委員長さんが出席要請に来られる時に必ず、「碧南さんのようなことはできませんが」と言われる程、我々だけではなく、皆さん方の印象に残るIMだったと思います。私は今まで44年間会員としてやってきましたが、このIMが1番印象に残っております。

これから私が何年会員でおれるかわかりませんが、健康である限りは会員でありたいと思っております。拙い話でごめんなさい。私が44年間会員をやってきて、印象に残ったことを報告させていただいて、私の話を終わらせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

バースデースピーチ（3月生まれの入会3年以内会員）

長田一希君



長田一希君

改めまして、長田一希です。よろしくお願い致します。森田先生が歴史のあるお話をしていただいた後に私のような軽薄な話でよろしいのかなという心配もありますが、鈴木幹事から「ロータリーに入って良かったこと、これからのロータリーに期待することを話してほしい。」という依頼がありまして、「どんなふうになっても知りませんよ。」ということで受けさせていただきました。この後、柴田さんもお話しいただくと思いますけれども、私が生まれて初めて生年月日が同一の方にお会いしまして、これも縁があって今日こうやってお話しさせていただけるんだなと思っております。

「私とロータリー」ということで、良かった点というのは、皆さんもよくご存じかと思うんですが、先代が亡くなって今年の10月で5年目になります。喫煙所で先輩方にお会いするんですけれども、よく先代の話をしていただくんですね。皆さんもご経験があるかと思うんですけれども、やっぱり同じ会社に入って上下関係になると、仕事の話はするんですが、プライベートの話は一切しなくなりました。親父がどんなことをしているのかということも全く知らなかったんですけれども、アホなことしとるなあという話を色々聞かせていただきまして、亡くなってからなんですけれども、親父のことを身近に感じることができるようになったなあという点を非常にありがたく思っております。皆さん、本当にありがとうございます。

今後、期待することと致しまして、昨今、例会やIMをリモートでやっていただくことが進んできたんですけれども、この先も同じようにリモートでやっていただいて、欲を言えば、月に1回とか定期的にリモートの例会というのがあると、今後、若い方が入ってきても割と受け入れやすいかなあと思いますので、そういった点を期待しております。

甚だ僭越ではございますが、新入会員代表としましてはこの後、柴田さんが素晴らしい卓話をしていただくと思いますので、バトンを渡したいと思います。

柴田さん、よろしくお願い致します。

バースデースピーチ（3月生まれの入会3年以内会員）

柴田奈生子君



柴田奈生子君

ご指名に与りました柴田です。よろしくお願い致します。バースデースピーチということで、同じく入会して良かったことと、女性目線で今後のロータリーに期待することを僭越ではございますが、卓話をさせていただきます。

まず、入会して良かったことなんですけれども、先程ご紹介していただいたんですが、私も生まれてから初めて生年月日が同一の方にお会いしました。同じ日に生まれて、今日まで生きてきて、これだけ違うんだということに衝撃を受けました。これからもっと頑張りたいと

思います。ロータリーに入ったことでできたご縁でございますが、皆様とのご縁ができたことも良かったことの1つです。ロータリーは親睦の輪の中から奉仕が展開され、個々が職業奉仕を通じて社会貢献をするという団体でございます。友情と申し上げるには些か恐縮ですが、元々、普通ではお話しができない方々と接点を持てる営業という仕事が好きで今の会社に入りました。好奇心と生活費のために働いているのもございますが、今日に至るまで毎日楽しんで仕事をさせていただいています。というのも、ここにおられる方々は成功した事業家やリーダーであり、その方々から聞く話は私の好奇心の中では、毎日がジェットコースターの連続です。私が知り得ない世界やものの見方、価値観や哲学が私の人生を豊かにしてくれています。昔、お世話になった方の1人に「生きてる内に心から感謝し、尊敬できる人が3人できたら、その人生は成功なんだ。」と教わったことがあります。今ここに60名以上の方がいらっしゃるの、私の人生は既に大大大成功になっております。ありがとうございます。きっと、職業の成功だけではなく、人間的、論理的に人を豊かにするという事は、こういうことなんだと思います。そして、より良い社会になっていくために今度は自分が尊敬され、信頼される人間になっていかなければならないんだと思います。

その他に良かったことは、例会で開催される卓話です。色々と印象に残っている卓話がございますが、職業柄お客様を一瞬で惹きつけるコミュニケーション術は商談やプレゼンテーションに大いに役立つと思い、ボス水野さんの真似をしてゼロクッションの実演販売を致しました。例会の時と同じようにやってみたんですけども、卵が見事に割れてしまいまして、当然、着替えを持っていなかったの、そのまま帰りました。ですが、その卓話の中で学んだ「序破急」というプレゼンテーションの構成なんですけれども、それは現在でも活用させていただいております。

最後になりますが、女性目線で今後のロータリーに期待することは、現在、うちも女性活躍推進法によって、女性登用17%が目標となっています。業種の問題もあるかもしれませんが、これまで女性管理職というと、男性さながらの女性が管理職になると考えられていました。しかし、個人的には男性は男性、女性は女性の良さがあり、住み分けした方が組織全体としては良くなるのではないかと考えています。私が言うのも違和感がありますが、女性の良さをアピールさせていただくと、以前、テーブルに飾っていただきましたお花を受付テーブルに飾っていただきたいと願っております。1つのことを作り上げるとか、スポーツ大会というのは男女問わず親睦の輪を広めると思うんですけども、音楽会やハーバリウム作りやワイン講習会など、女性が参加しやすい例会が今後の会員が増えるのじゃないかということを思っておりますし、それを期待しています。

大変不発に終わりましたが、以上でスピーチを終わらせていただきたいと思っております。

ご清聴ありがとうございました。



環境緑化整備事業 碧南市伊勢町公園 植樹式



次回例会案内

令和3年4月7日(水)

クラブフォーラム「絵画療法というカウンセリング技法」
愛知県立一宮工科高等学校、愛知県立小牧工科高等学校
非常勤講師 加藤舘雄氏